

## 上尾中央医療専門学校 学生支援への取組状況

### 【1】学生支援の組織

学習面：生活上の問題-全教員が窓口

経済面：事務長（主に奨学金や学納金の延納手続きについて）

### 【2】支援体制

#### 1) 学内対応

- ・基本的には学年担当が第一窓口となり、学生の諸問題を把握し、対応する。
- ・半年に1回定期面談を実施し、目標設定を振り返り、学習状況の確認、生活上の問題、悩みなどの相談にのる。
- ・相談内容により学年担当が適任者に依頼し対応する。
- ・対応実績はデータで記録し、保管するとともに、個人情報保護に留意している。

#### 2) 実習対応

- ・上尾中央医科グループ内の実習がほとんどであり、普段からコミュニケーションをとりやすい環境であることから、臨床実習での課題発見と解決がしやすい環境にある。
- ・遠方（山梨・千葉・神奈川・岩手）での長期実習の場合は、実習施設の近くのマンスリーレオパレスを学校が探し、入居手続きをする。費用負担について学生は定額制（1日1000円、光熱費、布団代込み）とし、残金を学校側が負担している。
- ・実習中は下記①～④をすべて実施し、何かあった場合の早期対応を徹底している。
  - ①担当教員が実習地に電話連絡し状況確認。
  - ②担当教員が実習地を訪問し、実習指導者ならびに学生と面談し、状況確認。
  - ③学生は週1回、メールにて担当教員へ定期報告を実施。
  - ④担当教員は実習対応専用の携帯電話をもち、学生や実習地からの急な連絡にも対応。

#### 3) 保護者との連携

- ・新生保護者対象説明会およびクラス別懇談会を毎年実施し、学校生活全般の状況説明を実施。
- ・成績が振るわない・臨床実習での進行が著しく滞るなどの場合は、保護者に連絡し家庭での状況確認や学則説明などを実施。
- ・普段の学生生活において気になる点がある場合も保護者に連絡し、家庭の状況確認や校内での様子の伝達を行い、ご家庭でのフォローの協力依頼をしている。
- ・仮進級、休学、留年、退学など学籍に関わる重大な案件の場合は、学生が成人しているかどうかに関わらず必ず保護者（入学の際の保証人）を含めた三者面談を実施。保証人が知らないうちに留年、退学などの重大な決断がなされないよう徹底した対応を実施。